

堤防整備と連携した安全で円滑な交通の確保

～小泉水戸線バイパス開通～

【目的】

一般県道小泉水戸線は、一級河川那珂川に並行して走る道路であり、国道245号と国道6号を東西に結ぶ、沿線地域の日常生活を支える重要な路線です。

本整備箇所は、那珂川の無堤防地区であり、過去に浸水被害を受けたことから、国が行っている堤防整備と連携し、歩道がなく狭い区間のバイパス整備を一体的に行いました。

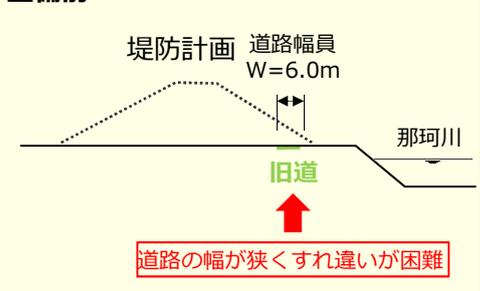
【効果】

堤防整備により、洪水や津波の遡上などによる、浸水被害の軽減を図ることができ、また、バイパスの開通により、安全の確保や円滑な交通に支障をきたしていた区間が解消され安全性の向上が期待されます。

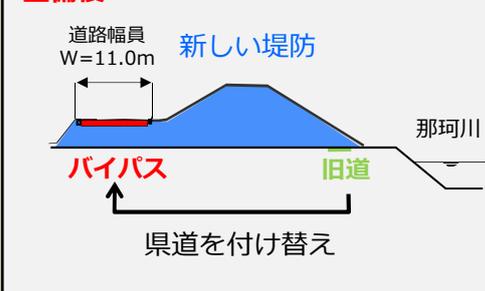
整備内容

- 那珂川の無堤防地区の堤防整備と合わせて旧道の付替えを行う際に、住民の安全や円滑な交通を確保するため、道路の幅が狭くすれ違いが困難であった旧道よりも道路の幅を広くして整備を行った。

整備前



整備後



那珂川大野築堤箇所

【位置図】



整備効果

堤防整備により安全度も増し「旧那珂湊までのアクセス向上!!!」

【旧道】



【バイパス】



【空撮】

